

宇津木台 森遊会 実施報告

「第9回定例活動」

No.2024-09

実施日	2024年12月22(日) 10:00~12:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：3名 松本、矢島、金森		

実施内容

活動14年目の第九回目。肌寒いが動くところちょうどよい気候。年に1回の小川の巡回と11月に集めたゴミを袋に入れて回収できるようにする。

我々を出迎えたのは大量の落ち葉、吹き溜まりになっているのか物置の周りは落ち葉のプールで膝まで埋まる、ガサガサ歩くと気持ちがいい。不思議なことに夏くらいまでには自然と消滅する。

小川に降りて歩ける程度に倒木を処理して笹を刈る。小川の上で行方不明になった巣箱を発見した。強風で落下した枝に巻き込まれて巣箱が破損したことは把握していたが本体が見つかっていなかった。破損が酷く修復は不可能なのでこの巣箱は廃棄した。小川は明るくなったため様々な植物が観られる。

最も下流に栗のイガだけが落ちており木が見当たらない。栗の木は最も高層まで伸びており、ここまで高い栗の木は珍しいのではないかと。

前回集めたゴミを袋に入れて緑地の管理者に回収を依頼した。

緑地を外から眺めて見ると竹林はもう少し密度を下げたほうがいい。次回は竹林の整備を予定する。



物置の周りは落ち葉のプール



膝まで落ち葉



小川に入り倒木を片づける



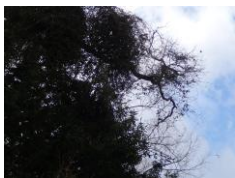
小川の中で朽ちた巣箱を発見



おおむね明るくゴミは無し



さまざまな植物が観られた



大きくなった栗の木を発見



小川の巡回は完了



北側道路はゴミを捨てやすい



前回集めたゴミを袋に入れて緑地の管理者に回収を依頼した



近くにある八高線高架下の作品



北側の畑からの竹林の様子



平町の大イチョウ

看板が新しくなっている

まだまだ健在で毎年大量の葉を落としている



連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は、大4個を北側道路沿いに置く。